

第 1 回「鹿児島地域 地域振興の取組方針」策定地域懇談会
議事概要

- 1 日時 平成30年 8 月 6 日（月）15:00～17:00
- 2 場所 鹿児島地域振興局 5 階大会議室
- 3 出席者
 - (1) 地域懇談会委員 14人（局長除く。欠席 1 人）
桃北委員，丸田委員，井之脇委員，永山委員，古川委員，亀岡委員，徳田委員，田中委員，村山委員，吉崎委員，久木留委員，池田委員，迫委員，倉野委員
 - (2) 県（鹿児島地域振興局） 19人
局長，総務企画部長，総務企画部（総務企画課），保健福祉環境部（健康企画課，地域保健福祉課），農林水産部長，農林水産部（農林水産総務課，農政普及課，農村整備課，林務水産課），建設部（建設総務課，土木建築課，河川港湾課），鹿児島教育事務所（総務課）
 - (3) 管内市村政策担当課長等 8 人
 - (4) オブザーバー（鹿児島地域振興局管内選出県議会議員） 7 人
桑鶴議員，柳議員，藤崎議員，下鶴議員，東議員，上山議員，いわしげ議員
- 4 局長あいさつ
- 5 議事
 - (1) 「かごしま未来創造ビジョン」，「鹿児島地域 地域振興の取組方針」骨子案について事務局から説明
 - (2) 意見交換で出された主な意見

○ 少子高齢化の進行に伴う後継者不足がどの分野でも課題

- ・ 医療分野では，医師の高齢化が進み，地域によって，医師不足や診療科目の偏りがある。医療機関の間で診療科目を機能分担する方向へ動いている。
- ・ 商業分野では，地域によって，観光ガイドや繁盛している店舗にも後継者がいない。世代を超えた後継者の育成が必要
- ・ 水産業では，組合員の高齢化，組合員数の減少により存続が危ぶまれる漁協も出てきている。後継者を確保するには，安心して子育てができる環境と所得の向上が必要

- ・建設業では，外国人の採用などで今のところ働き手は足りているが，将来の人手不足には不安を抱えている。ICT施工などで生産性を高めることに期待している。
- 観光は，ユニバーサル，バリアフリー，広域周遊ルートがキーワードとして重要。また，交通の結節点である鹿児島市を有するという地理的優位性を生かして，他のエリアとの連携を追加すべき。
- 当地域には，大学や水族館など学術的な集積があり，これらは，地域振興・観光に繋がる。
- 地域の資源を皆が認識し，維持し，情報発信していくことが重要。情報発信のツールは，域外の人にわかりやすくする工夫が必要
- 都市部における大規模災害時の廃棄物処理について，検討が必要。頻発する災害に備えた対策が必要
- まちづくりや地域おこしは，リーダー的な存在を中心に活動を継続していくことが大事。また，受け身の第三者をいかに活動に巻き込むかが課題
- 児童生徒数の減少により，合同チームや小中一貫教育などの工夫をしており，今後も地域が連携する必要がある。また，大学や高校生など地域外の人材と交流する，地域外から伝統行事に参加してもらう方向に発想を転換することが重要
- 独居高齢者の在宅看取りと認知症への対処が課題。地域全体が高齢化しており，地域で支えることが難しくなりつつある。
- 子ども達が将来帰ってきたくなくなるような活動，地域づくりが大事
- 多様な世代による協働，他の地域との連携によって地域を支えることが必要
- 今あるものを組み合わせて，地域の活性化につなげることが効果的